

対象 第2学年

ア 単元名

スピーチをする

－自分たちの所属している部活動や興味があることについて紹介してみよう－

イ 指導の実際

(ア) 単元計画

単元 目標	○スピーチについて理解し、伝え合うことに関心をもとうとする。(関心・意欲・態度) ○自分の意見や考え方を相手に分かりやすく伝えることができる。(話す・聞く能力) ○スピーチに適した語句を理解することができる。(知識・理解)		
単元の 評価 規準	関心・意欲・態度	話す・聞く能力	知識・理解
	①スピーチの目的や注意点について、理解を深めようとしている。 ②話し手・聞き手の立場から、伝え合うことに関心をもとうとしている。	①話題を明確に伝えることのできる材料を選定している。 ②スピーチを通して、自分の意見や考え方を相手に分かりやすく伝えられている。	①スピーチに適した語句を理解し、スピーチ原稿に生かしている。
指導と評価の計画 (全5時間)			
時間	各時間の目	主な学習活動	各時間の具体的評価規準及び指導の手立て
1	1 スピーチの目的や注意点を理解する。 2 スピーチの話題を考える。	1 朗読CDを聞き、ニュース番組を視聴する。 2 模範的な話し方の特徴について、気付いたことをワークシートにまとめる。 3 スピーチの目的や注意点を話し合う。 4 自分が紹介したい話題を考える。	評価：スピーチの目的や注意点について、理解を深めようとしている。(関・意・態①) 評価方法：発表内容、ワークシートの確認 【指導の手だて】 1 模範的な話し方の特徴に気付かない場合は、他者と話し合いながら確認するよう指示する。 2 話合いの苦手な生徒には、スピーチの例を示し、分かりやすく説明する。 3 部活動に所属していない生徒にも、アルバイトや趣味など、自分が紹介したいことについて考えさせる。
2	1 スピーチの材料を選定する。	1 前回考えた話題を明確にする材料を収集し、材料メモをつくる。 2 材料メモを整理し、スピーチで取り上げる材料を決定する。 〔グループ活動〕	評価：話題を明確に伝えることのできる材料を選定している。(話①) 評価方法：机間指導、材料メモの確認 【指導の手だて】 1 材料メモをなかなか作ることができない場合は、身近なところから材料を探してみることを示す。 2 材料メモからスピーチで取り上げる材料を決定できないグループには、聞き手に興味をもたせることができる内容かどうかを考えるよう指示する。

3	<p>1 スピーチ原稿を作る。</p> <p>2 スピーチに適した語句を理解する。</p>	<p>1 前回選定した材料を基に、スピーチ原稿をつくる。</p> <p>2 スピーチ原稿を推敲し、スピーチに適した語句について考える。</p> <p>3 グループ内で担当を決めてスピーチの練習をし、ICレコーダーに録音する。</p> <p>〔グループ活動〕</p>	<p>評価：スピーチに適した語句を理解し、スピーチ原稿に生かしている。(知・理①)</p> <p>評価方法：机間指導、スピーチ原稿の確認</p> <p>【指導の手だて】</p> <p>1 スピーチ原稿が書けない場合は、材料メモの内容を具体的に書いてみることを指示する。</p> <p>2 スピーチに適した語句が分からない生徒に、聞き手の立場になって考えさせる。</p> <p>3 自分の話し方の特徴に気付くことができない場合は、ICレコーダーに録音した声を注意して聞くよう指示する。</p>
4 【 本 時 の 学 習 】	<p>1 前時までの学習を生かして、よりよい話し手・聞き手となる。</p>	<p>1 全体の前で発表する。</p> <p>〔グループ活動〕</p> <p>2 スピーチの話し手を評価する。</p> <p>3 スピーチの様子をビデオカメラで撮影する。</p>	<p>評価：スピーチを通して、自分の意見や考え方を相手に分かりやすく伝えている。(話②)</p> <p>評価方法：発表内容、チェックシートの確認</p> <p>【指導の手だて】</p> <p>1 人前で話すことが苦手な生徒に個人指導をする。</p> <p>2 スピーチにふさわしい和やかな雰囲気づくりに努める。</p>
5	<p>1 話し手・聞き手としての自分を振り返る。</p> <p>2 単元全体の活動を振り返る。</p>	<p>1 ビデオカメラで撮影されたスピーチの様子を、グループごとに視聴する。</p> <p>〔グループ活動〕</p> <p>2 聞き手の評価も参考にして、自己評価をワークシートに記入する。</p> <p>3 発表までの準備を振り返り、感想を書く。</p>	<p>評価：話し手・聞き手の立場から、伝え合うことに関心をもとうとしている。(関・意・態②)</p> <p>評価方法：机間指導、ワークシートの確認</p> <p>【指導の手だて】</p> <p>1 ビデオカメラで撮影されたスピーチの様子や、聞き手の評価を参考にするよう指示し、自分の良かった点や悪かった点などを振り返らせる。</p> <p>2 感想を書くことが苦手な生徒には、発表までの準備の様子を具体的に説明しながら、思ったことを自由に書いてよいことを示す。</p>

(イ) 学習指導案

日 時	平成 22 年*月*日 (*) 第*時限	普通科	2 年*組	2 年*組教室	
指導者	井上 悦子	教科書	新編国語総合	発行所 東京書籍	
本 時 目 標	第 4 時 (全 5 時間中) ○スピーチを通して、自分の意見や考え方を分かりやすく伝えることができる。(話②)				
資 料	スピーチ原稿, チェックシート, ビデオカメラ				
展 開		学習内容	学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び評価の実際
	導 入	本時の目標 の確認	・本時の目標を確認する。 ・前時までの学習内容を振り返る。	5 分	・本時の目標を板書する。 ・スピーチ原稿, チェックシート の内容を確認させる。
	展 開	全体の前で 発表 スピーチの 話し手を評 価	・グループごとに自分たちが紹介したいことについてスピーチをする。 〔グループ〕 ・聞き手はチェックシートにスピーチの評価を記入する。 〔個 人〕 ・スピーチの様子をビデオカメラで撮影する。	40 分	評価: スピーチを通して、自分の意見や考え方を分かりやすく伝えている。(話②) 評価方法: 発表内容, 観察, チェックシートの確認 ○どのような話し方が聞きとりやすいのか考えさせ, チェックシートの項目についても注意しながら話すことを指導する。 ○聞き手には, 聞くことに集中させる。要点はメモ書き程度にとどめさせ, チェックシートへの書き込みの時間を充分にとる。 ○グループの発表が終わる度に拍手するよう指示し, 上手く発表できなかった者が嫌な気持ちにならないような雰囲気づくりをする。 ○ビデオカメラで撮影したスピーチの様子は, グループごとに視聴させることを伝える。
	開 ま と め	本時のまとめ 次時の学習 の確認	・チェックシートを提出する。 ・次時は自己評価をすることを確認する。	5 分	・チェックシートに必要事項が記入されているかどうか, 確認させてから提出させる。 ・次時に自己評価をする際に, ビデオカメラで撮影したスピーチの様子や, 聞き手の評価も参考にす るよう指示する。